

# MD100 のモードの選び方ガイド

このマニュアルでは「MD100」のモードについて説明します。  
それぞれのモードの特徴や使用するのに  
最適なモードを選択することができます。

※このマニュアルでは設定は出来ません！

## 内容

・モードの選び方 .....	3
・説明の見方 .....	3
・読み取りモード .....	4
1.説明 .....	4
2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ .....	4
3.よく使用される目的 .....	4
4.設定で可能なこと .....	4
5.出力結果イメージ .....	5
・1対1モード .....	6
1.説明 .....	6
2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ .....	6
3.よく使用される目的 .....	7
4. 設定で可能なこと .....	7
5.出力結果イメージ .....	7
・1対Nモード .....	8
1.説明 .....	8
2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ .....	8
3.よく使用される目的 .....	9
4. 設定で可能なこと .....	9
5.出力結果イメージ .....	9
・DB照合モード .....	10
1.説明 .....	10
2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ .....	10
3.よく使用される目的 .....	11
4.設定で可能なこと .....	11
5.出力結果イメージ .....	11

## ・モードの選び方

MD100 には「読み取りモード」「1 対 1 モード」「1 対 N モード」「DB 照合モード」の 4 つのモードがあります。

このマニュアルではそれぞれのモードの特徴をご案内します。

※このマニュアルで設定は出来ません！

## ・説明の見方

### 1.説明

そのモードの動きを説明します。

### 2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ

使用する上での流れを説明します。

### 3.よく使用される目的

そのモードがどの環境下でよく使用されるかを例を上げて紹介します。

### 4.設定で可能なこと

そのモードで使用可能な設定をあげています。

### 5.出力結果イメージ

パソコンに取り込んだ際に出力される結果を例を上げて説明します。

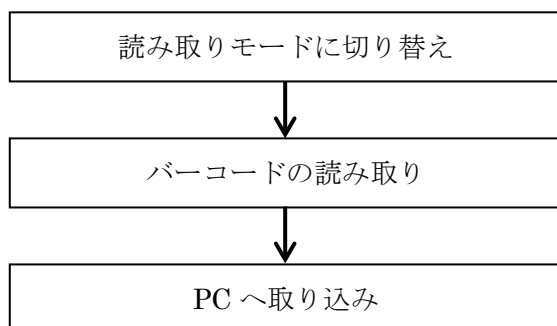
## ・読み取りモード



### 1.説明

バーコードを読み取り本体に保存をします。  
また、液晶画面にそのデータを表示することも可能です。

### 2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ



### 3.よく使用される目的

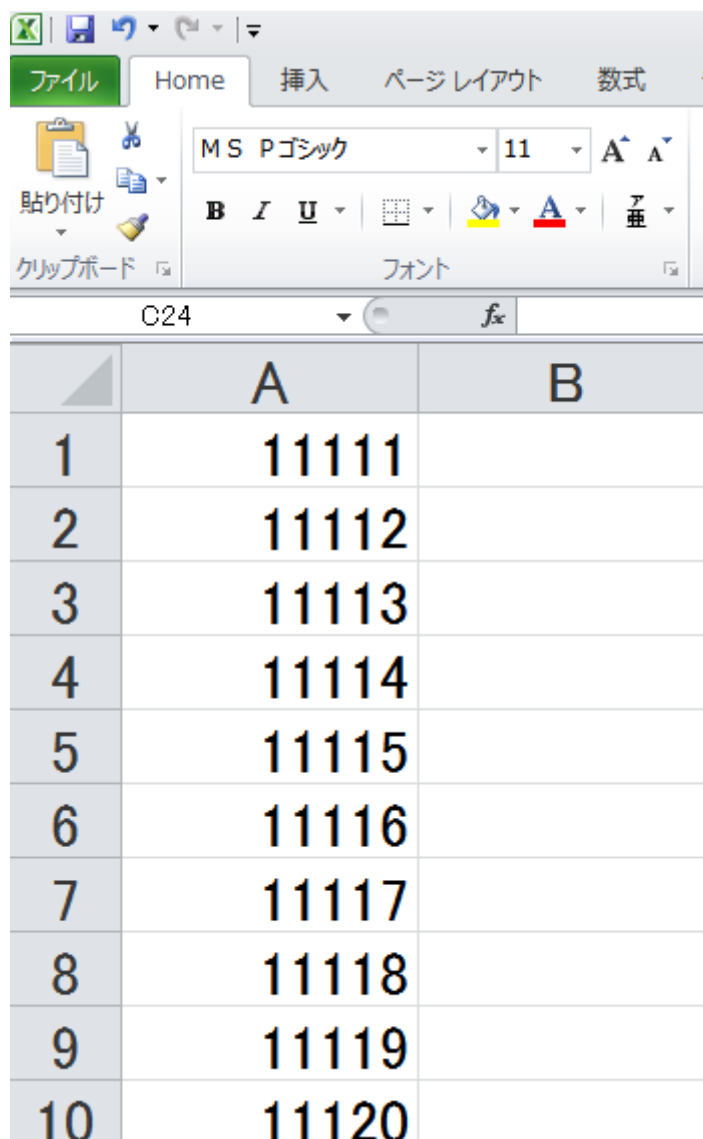
- ・パソコンが使えない場所での読み取り
- ・遠く離れた数店舗間での読み取り作業
- ・バーコード読み取り後、液晶での確認

### 4.設定で可能なこと

項目	説明
個数入力	カンマ区切りで「バーコード,数」と表示したり 「12345」を読み取り 5 と入力すると「12345」を 5 個保存したりすることが可能です。
データベース参照	関連付け設定を行っておくことで バーコードを読み取り該当する商品名を出したりすることが可能です。
二重読み取り防止	同じバーコードを 2 回以上読み取ると保存しないようにします。
確認送信	バーコード読み取り後に保存していいかの確認を表示します。
日付転送	バーコードデータの後に日付を付加します。
時間付加	バーコードデータの後に時間を付加します。
スキャン方法	常時照射モード等、レーザー照射モードを切り替えます。

項目	説明
ビープ音	読み取り時の音の大きさを変更できます。
バイブ	読み取り時のバイブの ON、OFF を切り替えます。
「”」囲み	データを「”」で囲みます。バーコードデータに「,”」がある際に使用します。
本体番号付加	バーコードデータの後に本体番号を付加します。 複数台使用時にどの機械で読み取ったかの識別等に使用します。
ファイル操作	保存したバーコードをリセットすることが出来ます。
履歴確認	読み取ったバーコードを確認します。
時間設定	本体の時間を設定します。
バックライト OFF	バックライトを消して省エネモードに入る時間を設定します。
設定の初期化	変更した設定 (MD100 側) を初期化します。

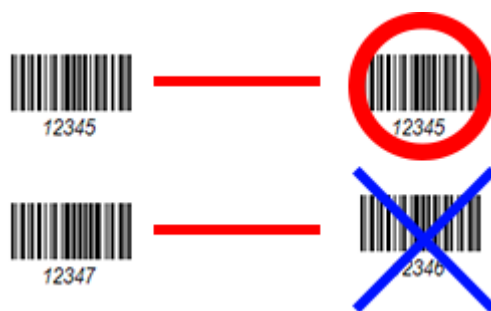
## 5.出力結果イメージ



The image shows a screenshot of a Microsoft Word document. The ribbon is set to 'Home' and the font is 'MS Pゴシック' size 11. The document content is a table with 10 rows and 2 columns. The first column contains numbers 1 through 10, and the second column contains barcode-like strings: 11111, 11112, 11113, 11114, 11115, 11116, 11117, 11118, 11119, and 11120.

	A	B
1	11111	
2	11112	
3	11113	
4	11114	
5	11115	
6	11116	
7	11117	
8	11118	
9	11119	
10	11120	

## ・ 1 対 1 モード

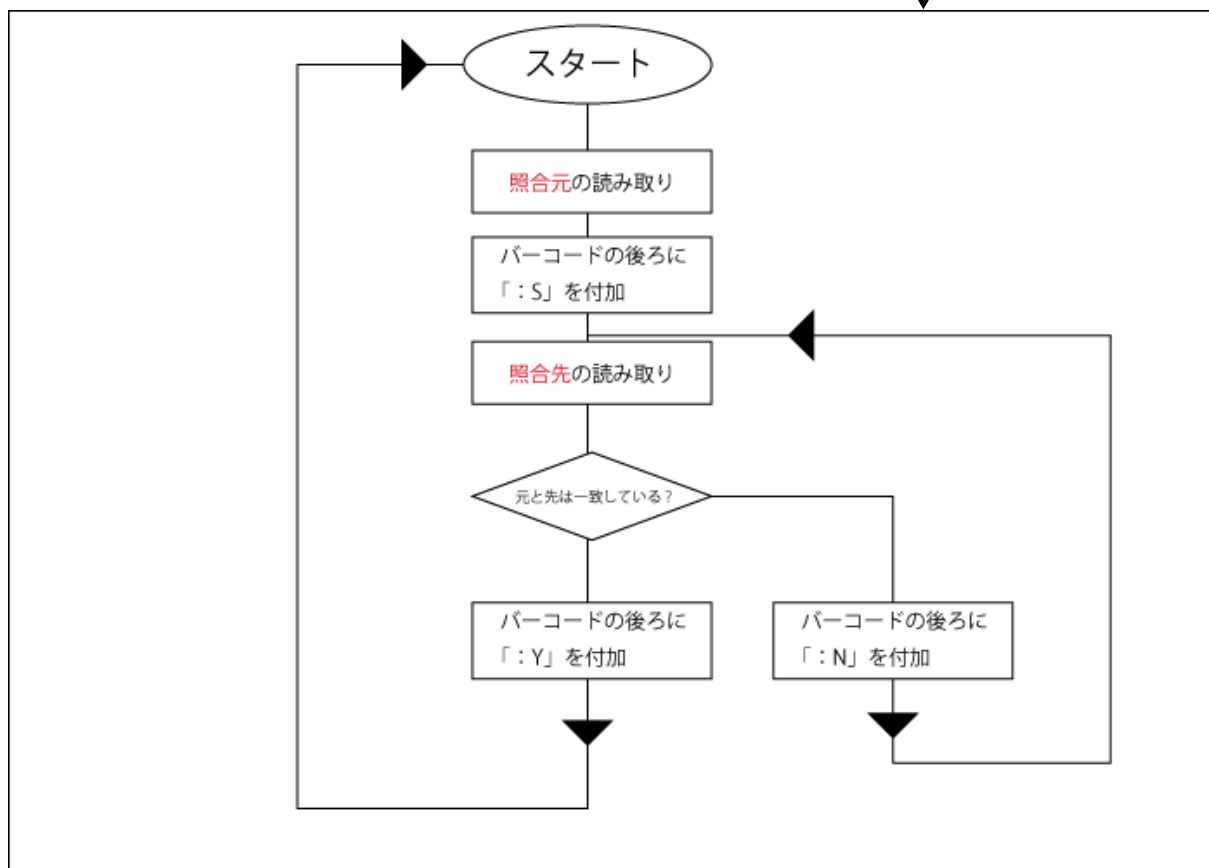
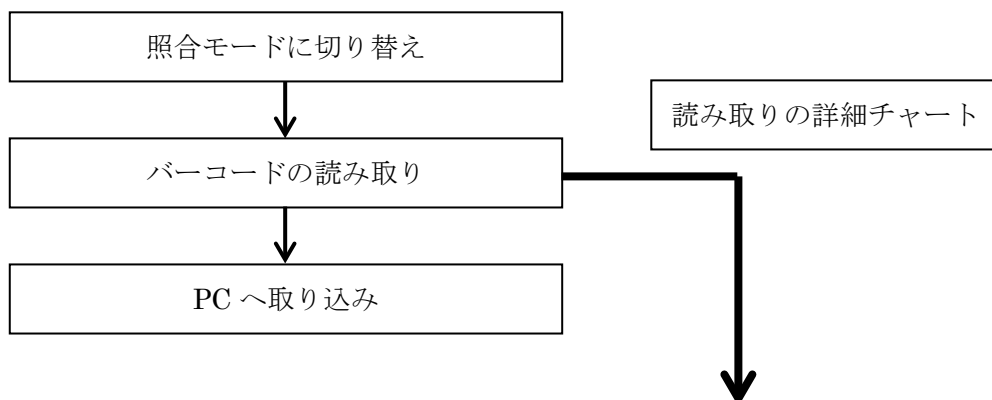


### 1.説明

1つの照合元を読み取り→1つの照合元を読み取り→1つの照合元を読み取り・・・を繰り返すモードです。

送り状と出荷伝票に同じバーコードを貼り付けておき送り状と出荷伝票が一致しているかのチェックが可能です。

### 2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ



### 3.よく使用される目的

- ・組み立て作業で一致した部品で組み立てているかの確認
- ・送り状と出荷伝票の一致確認
- ・似たようなパッケージの商品のバーコード同士を読み取り同一商品か確認。

### 4. 設定で可能なこと

項目	内容
照合カラム設定	2つのバーコード、「201408281000」と「201408291000」の赤字部分だけを照合する等、抜き出し部分を指定しての照合が可能です。
確認送信	バーコード読み取り後に保存していいかの確認を表示します。
日付転送	バーコードデータの後に日付を付加します。
時間付加	バーコードデータの後に時間を付加します。
スキャン方法	常時照射モード等、レーザー照射モードを切り替えます。
ビープ音	読み取り時の音の大きさを変更できます。
バイブ	読み取り時のバイブの ON、OFF を切り替えます。
「 <b>“</b> 」 囲み	データを「 <b>“</b> 」で囲みます。バーコードデータに「 <b>，</b> 」がある際に使用します。
本体番号付加	バーコードデータの後に本体番号を付加します。 複数台使用時にどの機械で読み取ったかの識別等に使用します。
ファイル操作	保存したバーコードをリセットします。
履歴確認	読み取ったバーコードを確認します。
時間設定	本体の時間を設定します。
バックライト OFF	バックライトを消して省エネモードに入る時間を設定します。
設定の初期化	変更した設定（MD100 側）を初期化します。

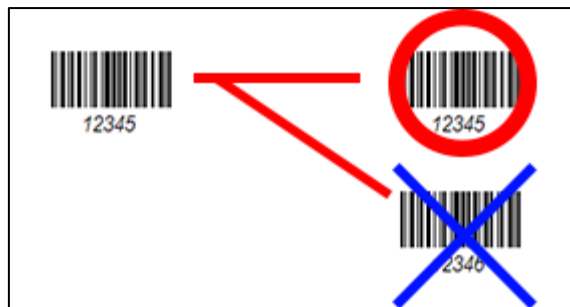
### 5.出力結果イメージ

	A	B
1	1111	:s
2	1111	:y
3	1112	:s
4	1111	:n
5	1112	:y
6	1113	:s
7	1113	:y

バーコードのデータ

照合結果

## ・ 1 対 N モード

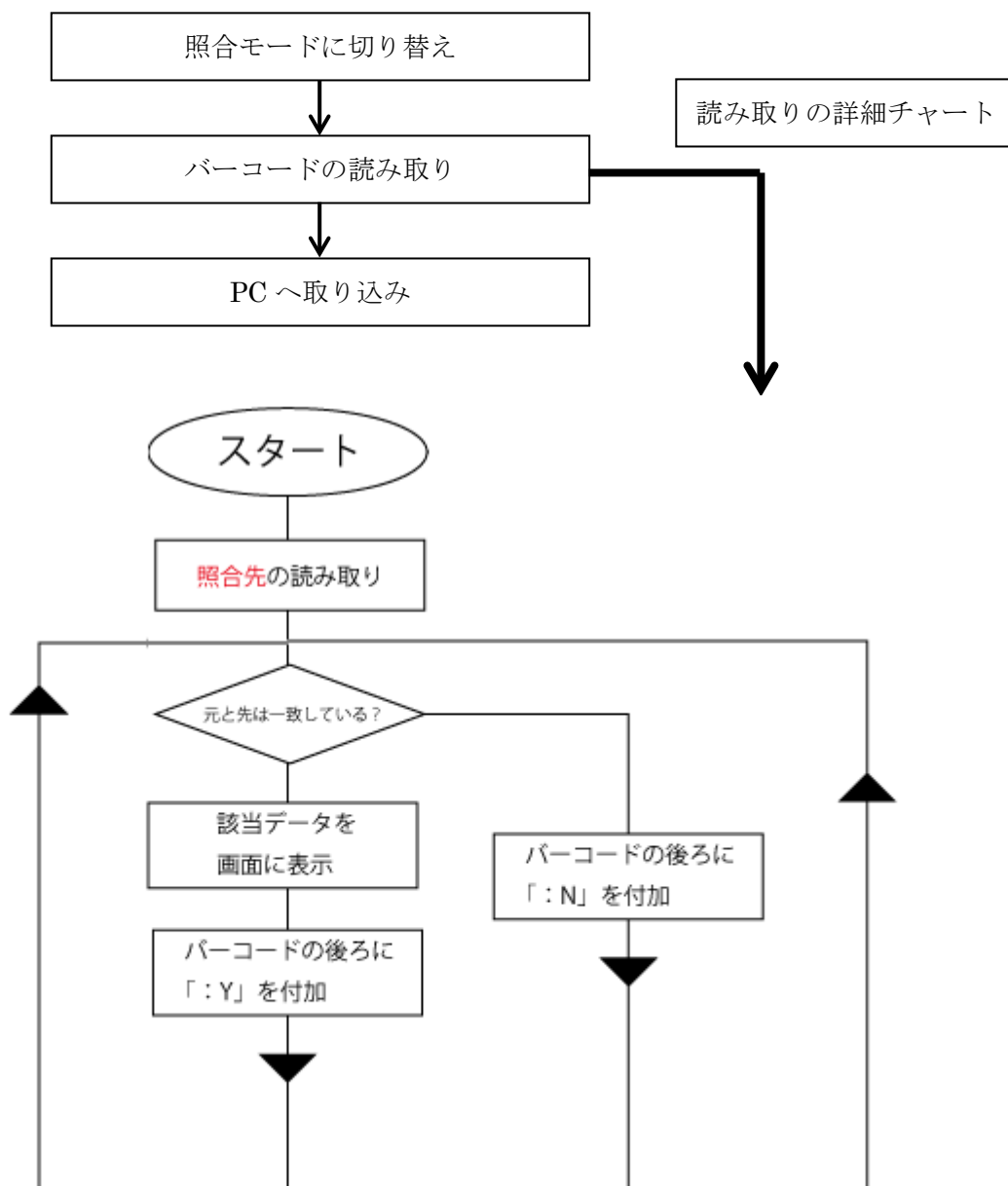


### 1.説明

1つ照合元になるデータを決めて照合をしていくモードです。

1つの大きな箱に同一商品を入れる際に間違った商品が入っていないかを確認したりする際に利用します。

### 2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ





### 3.よく使用される目的

- ・同一商品が大量にまとめてある箱に対して他の商品が混入していないかの確認。

### 4. 設定で可能なこと

項目	内容
照合カラム設定	2つのバーコード、「201408281000」と「201408291000」の赤字部分だけを照合する等、抜き出し部分を指定しての照合が可能です。
確認送信	バーコード読み取り後に保存していいかの確認を表示します。
日付転送	バーコードデータの後に日付を付加します。
時間付加	バーコードデータの後に時間を付加します。
スキャン方法	常時照射モード等、レーザー照射モードを切り替えます。
ビープ音	読み取り時の音の大きさを変更できます。
バイブ	読み取り時のバイブの ON、OFF を切り替えます。
「 <b>“</b> 」囲み	データを「 <b>“</b> 」で囲みます。バーコードデータに「 <b>，</b> 」がある際に使用します。
本体番号付加	バーコードデータの後に本体番号を付加します。 複数台使用時にどの機械で読み取ったかの識別等に使用します。
ファイル操作	保存したバーコードをリセットします。
履歴確認	読み取ったバーコードを確認します。
時間設定	本体の時間を設定します。
バックライト OFF	バックライトを消して省エネモードに入る時間を設定します。
設定の初期化	変更した設定（MD100 側）を初期化します。

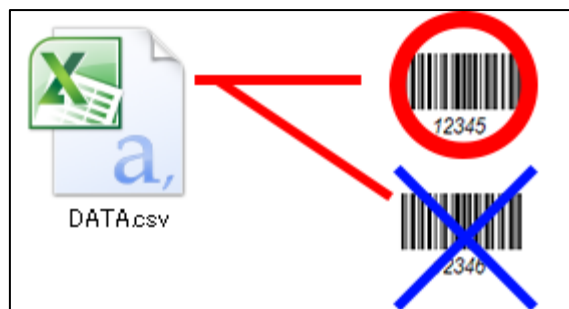
### 5.出力結果イメージ

	A	B	照合結果
1	12345	:s	
2	12345	:y	
3	99999	:n	
4	12345	:y	
5	12345	:y	

バーコードのデータ

照合結果

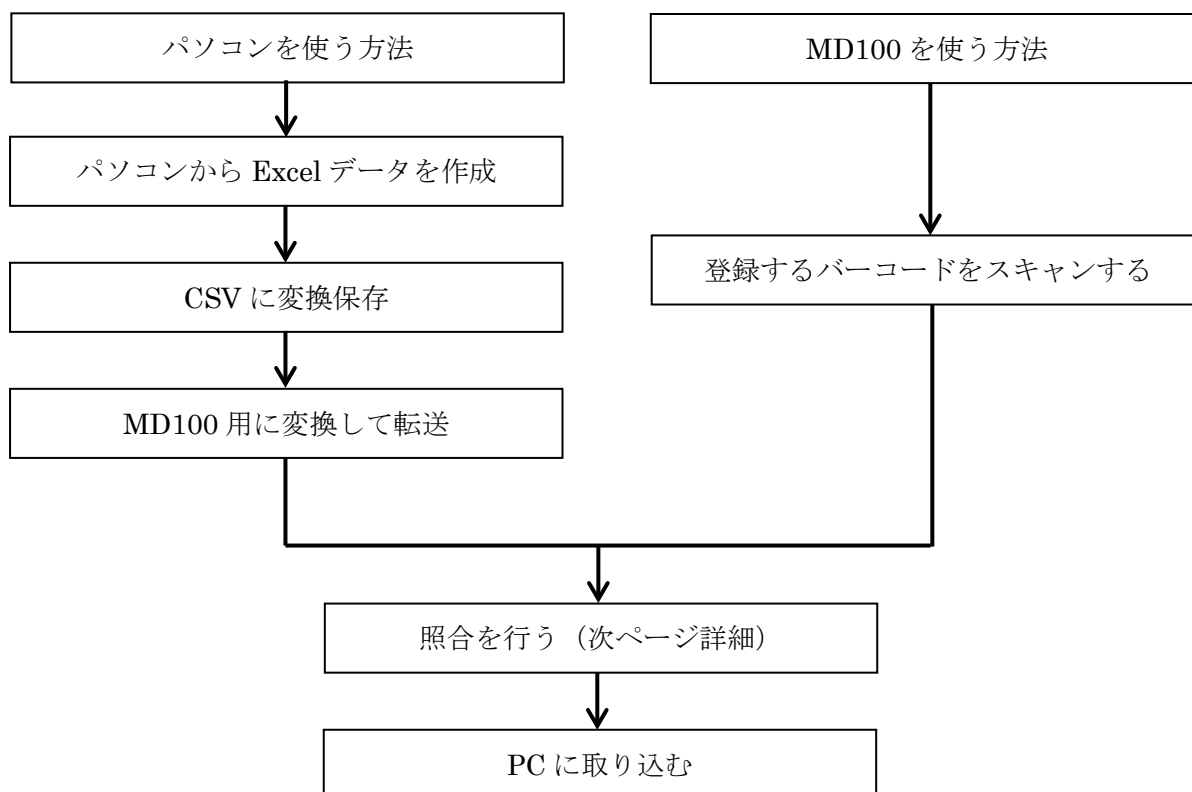
## ・ DB 照合モード



### 1.説明

予め決めておいたバーコードを読み取るモードです。  
到着予定の商品のコードを登録しておき、それらと一致するかを確認したりすることが出来ます。

### 2.読み取りからパソコンへの転送までの手順イメージ



### 3.よく使用される目的

- ・同一商品が大量にまとめてある箱に対して他の商品が混入していないかの確認。
- ・商品の名前を登録しておき、バーコードを読み取りその商品名の表示

### 4.設定で可能なこと

項目	内容
確認送信	バーコード読み取り後に保存していいかの確認を表示します。
日付転送	バーコードデータの後に日付を付加します。
時間付加	バーコードデータの後に時間を付加します。
スキャン方法	常時照射モード等、レーザー照射モードを切り替えます。
ビープ音	読み取り時の音の大きさを変更できます。
バイブ	読み取り時のバイブの ON、OFF を切り替えます。
「」 囲み	データを「」で囲みます。バーコードデータに「,」がある際に使用します。
本体番号付加	バーコードデータの後に本体番号を付加します。 複数台使用時にどの機械で読み取ったかの識別等に使用します。
ファイル操作	保存したバーコードをリセットします。
履歴確認	読み取ったバーコードを確認します。
時間設定	本体の時間を設定します。
バックライト OFF	バックライトを消して省エネモードに入る時間を設定します。
設定の初期化	変更した設定（MD100 側）を初期化します。

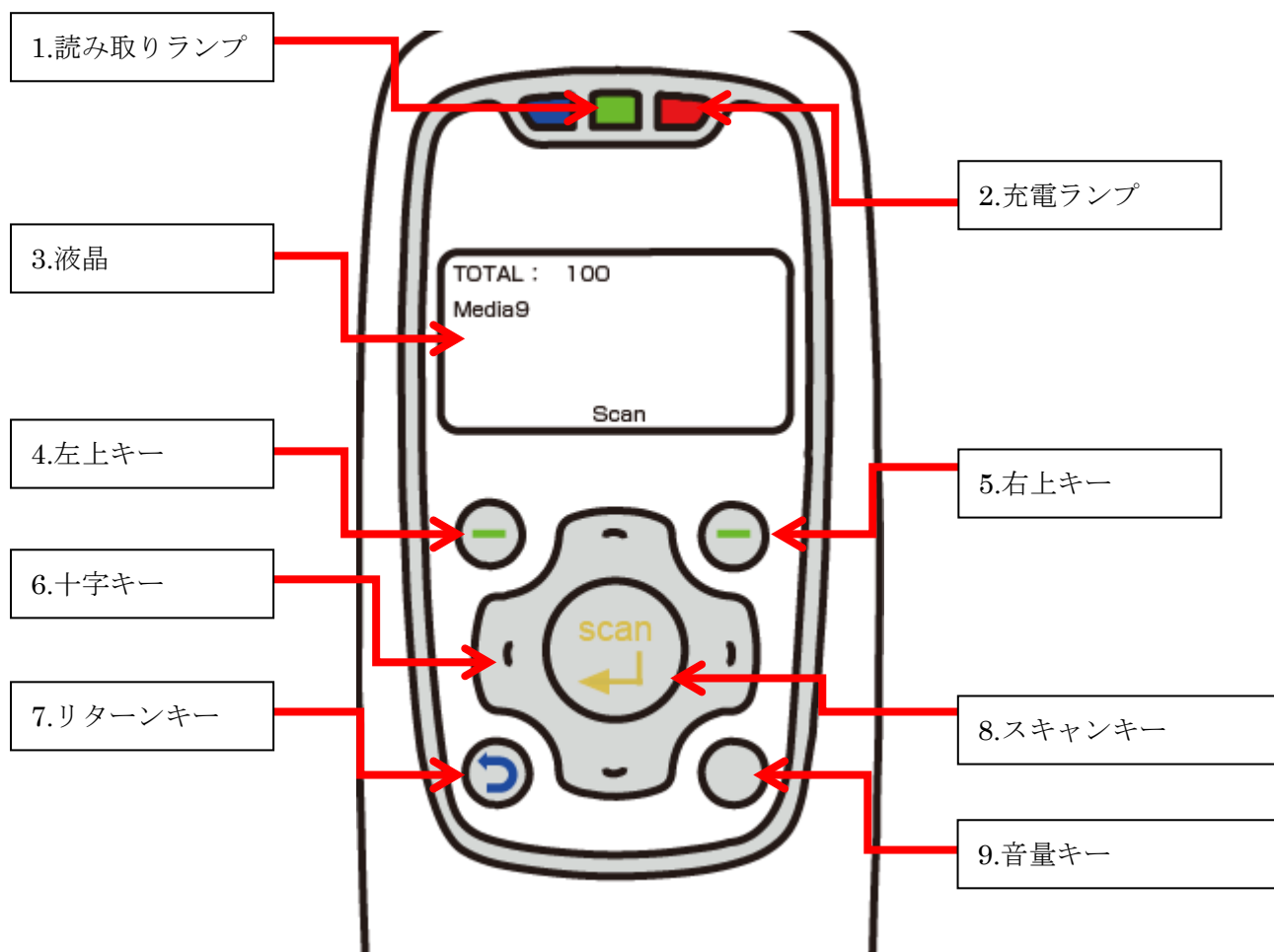
### 5.出力結果イメージ

	A	B	照合結果
1	11111	:y	
2	22222	:n	
3	90909090	:y	
4	33333	:y	
5	44444	:y	

バーコードのデータ

照合結果

・ MD100 基本操作説明



項目	説明
1.読み取りランプ	バーコードを読み取ると緑色のランプが点灯します。
2.充電ランプ	MD100 を充電すると点灯します。
3.液晶	読み取ったコードやメニューが表示されます。
4.左上キー	モードによって使用します。 常時照射モード時、電源以外は操作を受け付けませんがこのキーを押しながら他のキーを組み合わせることで操作を受け付けることが可能です。
5.右上キー	モードによって使用します。
6.十字キー	カーソルの移動等メニュー操作や個数入力時に使用します。
7.リターンキー	一つ前の画面に戻ります。
8.スキャンキー	バーコードを読み取ります。 メニュー等を開いている場合は決定ボタンとして使用します。
9.音量キー	ボタンを押す毎にミュート→小→中→大の順で音量を切り替えます。